



電車線工事の範囲(赤点線囲み部分)

新幹線を つくる

Vol.44

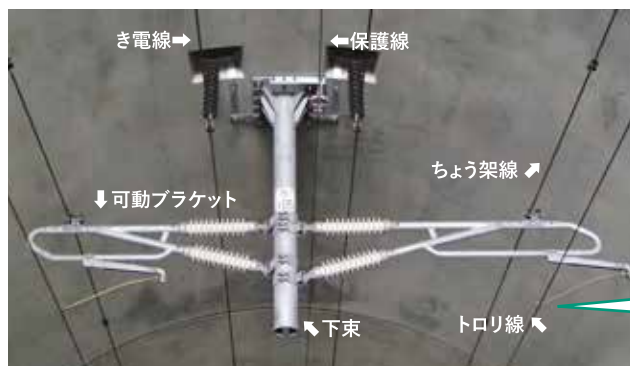
鉄道・運輸機構(JRTT)は、北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



電気工事の 始動に向け準備中!

新幹線建設では、トンネルなどの土木工事の完了後、軌道や電気設備などの工事が始まります。今回は新幹線の運行に欠かせない電気設備の中でも、新幹線車両に電気を供給するための電車線路設備についてご紹介します。電車線路設備には、次のような設備を設けています。

- ・新幹線車両へ電気を送るための「トリ線」、それを支える「ちょう架線」
- ・変電所に電気を戻すための「き電線」
- ・雷などから設備を保護するための「架空地線」、「保護線」
- ・電車線を取り付ける「可動ブラケット」、トンネル区間で支える「下束」、明かり区間で支える「電柱」



トンネル内の電車線路設備



折出強化型
銅合金トリ線(PHCトリ線)

トリ線拡大図

電車線路設備は、地震や強風、厳冬期でも安全に運行できるように計画しています。現在は、電柱・下束を設置する位置について、高架橋やトンネルの構造を確認しながら、土木工事に反映できるよう調整を行っています。

担当者より一言

新幹線の建設は、多くの分野の専門技術者が総力を結集し、長大な距離を長期間に渡って進めていく一大プロジェクトです。それぞれの部門と協議・調整しながら進めることが多く、大変ではありますが、来たる電気工事の始動に向けて日々の業務を一步一步着実に進めていきます。



JRTT 北海道新幹線建設局 電気部
電気第二課担当係長 小林 大雄 さん

Instagram



最新の建設情報は
こちらよりご覧いただけます。